

金沢大学

コパン

リエゾンオフィス

現在の状況

2021年2月

会社名金沢大学人間社会研究域附属
国際文化資源学研究中心長/教授
中村 誠一



1 コパンのマヤ遺跡

中央アメリカのホンジュラス共和国西部コパルイナス市に位置するコパン遺跡はユネスコの世界文化遺産「コパンのマヤ遺跡」として登録されている。マヤ文明遺跡の中でも 19 世紀から古代マヤの芸術と学問の都として著名である。

ホンジュラス有数の観光地であるとともに、世界中のマヤ考古学者が競って調査研究を行っている遺跡でもある。



コパン遺跡、球技場



コパン遺跡、大広場



コパン遺跡、石碑 D



ロサリラ神殿レプリカ、石彫博物館



コパン遺跡、神聖文字の階段
遺跡保護天幕交換時の画像

2 金沢大学の活動状況



神殿 7
発掘調査中



神殿 11
発掘調査を計画中



神殿 7 の調査



神殿 7 の測量



コパン遺跡
ヌニェスチンチージャ地区の埋葬の発掘調査

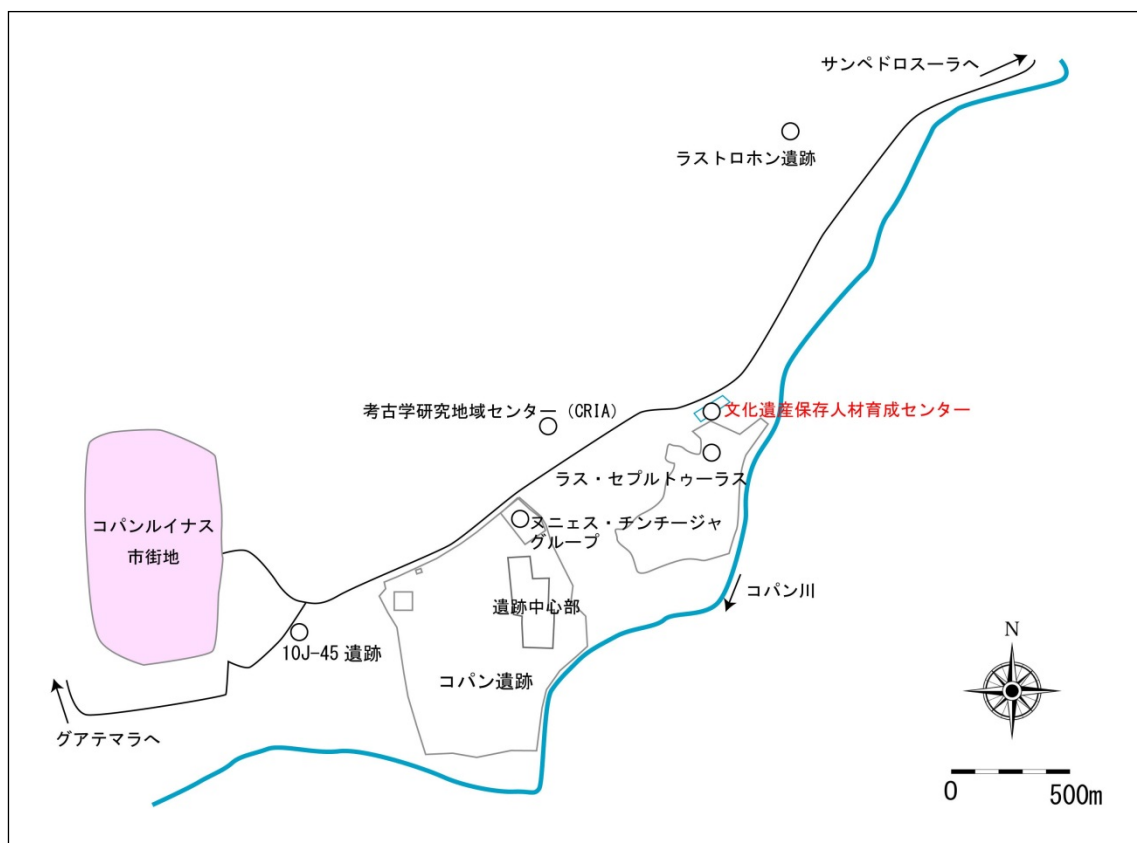


コパン遺跡
ヌニェスチンチージャ地区の発掘調査

3 コパン文化遺産保存人材育成センターと 金沢大学コパンリエゾンオフィス

金沢大学コパンリエゾンオフィスは、2016年10月に当時の国際担当理事・副学長が学長代理としてホンジュラスを訪問した際に、日本政府のノンプロ無償資金協力のホンジュラス側見返り資金で建設されていた「コパン文化遺産保存人材育成センター」内の研究スペースの一部を、ホンジュラス政府管理機関であるホンジュラス人類学歴史学研究所から無償借用されて設置したものである。ホンジュラス人類学歴史学研究所は、金沢大学の大学間協定締結機関で、国際共同研究実施機関でもある。

文化遺産保存人材育成センターのメイン施設は研修、シンポジウム、会議、催しなど多目的に使用できるスペースから構成されている。広いスペースを有しているが貸し出しスペースとしても計画されたため、常時、業務使用されているわけではない。



文化遺産保存人材育成センターの位置

4 文化遺産保存人材育成センター



衆議院議員団ご訪問（2018年）



2017年11月に金沢大学、中国社会科学院、ホンジュラス国立人類学歴史学研究所の共催でコパン文化遺産保存人材育成センターで行われた国際シンポジウムの参加者の写真。日・中・米・墨（メキシコ）・ホンジュラスから数多くの専門家が参加した。



正面



中庭



上空から(ドローンでの撮影)



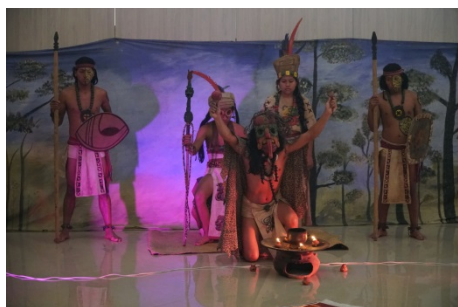
リエゾンオフィス内部（一部）



サロン1



サロン3

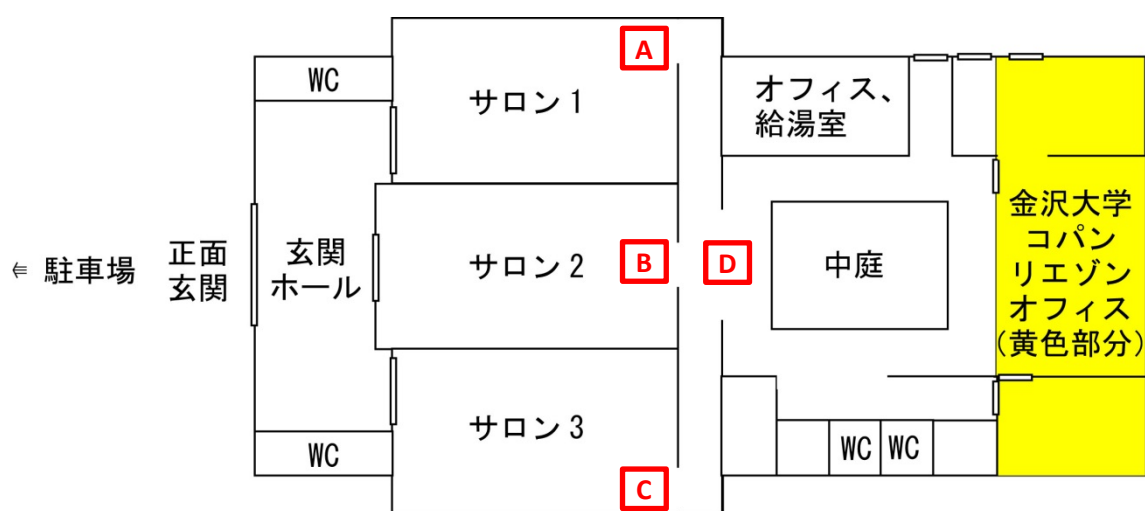


サロン 2 で行われた古代マヤの劇



正面玄関から駐車場を望む

5 コパン文化遺産保存人材育成センターの平面図略図



※ A、B、C、D の部分はドアがなく、壁につくられた開口部となっている。

6 コパンリエゾンオフィスの現況

ホンジュラス保健衛生省は Covid-19 対策として、コパルイナス市と近隣のサンタリタ市、カバーニャス市の行政区域内で新型コロナウイルスへの感染が疑われる者が発生した場合、イベント実施施設であるコパン文化遺産保存人材育成センターを隔離施設として利用することを計画し、管理機関であるホンジュラス人類学歴史学研究所へ申請し、研究所長も緊急事態のため認可した。

そのため、人材育成センターに併設している金沢大学コパンリエゾンオフィスも利用できない状態となった。

その後しばらくの間隔離施設として利用されていたが、施設を別の場所に移動したため、2021年2月現在、Covid-19 対応施設としての利用は休止している。今後の隔離施設としての利用は再開されるのか不明だが、ホンジュラス人類学歴史学研究所とも協議して、2020年8月に隔離施設として利用されているサロンとオフィスとの間を仮設の壁で仕切って通行

できないよう対応した。

現在はまだ日本から出張訪問できる状態にないが、コパン遺跡で継続している調査のための拠点として、渡航利用再開時期を検討している。科研費研究の現地調査補助員は、必要に応じて利用しており、定期的なオフィスの維持管理作業も続けている。

今後はパンデミックの状況を踏まえながら現場での発掘調査も漸次再開する計画であり、維持管理作業も継続していく予定である。

7 オフィス現況写真



事務室内部
(2021年1月)



事務室入り口
(2021年1月)



事務室内の消毒
(2020年12月)



オフィス周囲の草刈り作業
(2020年12月)



オフィスとサロンとの通路
(2020年8月)



通路を板で仕切ってサロンから
金沢大学オフィスへ通行できないように対処
(2020年8月)